



The Matter of Death in Yoron Island as Viewed from the Standpoint of Anthropology: Proposition of the Term "Appropriate Age" in Studies of Longevity Advances in Aging

## 近藤功行

### 緒言

#### ①研究背景

#### ②「適寿」という用語について

#### まとめ



本研究では、これまでの与論島を中心とした琉球文化圏における筆者のフィールドワークを発展させて、現在用語構築を模索して概観する。本用語は長寿科学研究における新たな用語として提言したいものである。筆者は琉球文化圏における長寿科学研究をととして、社会・文化的要因の解明に努めてきた。そのプロセスや現在携わる医療福祉教育を通して、今後のわが国の長寿科学研究には「長寿」や「死生観」「QOL」といった概念を統合した形での【適寿】の必要性を感じた。そこで、これまでの筆者の研究結果や学生へのアンケートから【適寿】について考察し、今後の長寿科学研究を見据える材料として提示してみる。

キーワード：適寿，死生観，長寿，長寿科学研究，QOL，精神性